

— 関西学院大学 —

2月2日 全学部 英語

解答

[I]

- A. (1) b (2) d (3) c (4) c (5) b
(6) c (7) a (8) b
B. (ア) b (イ) c (ウ) a (エ) d (オ) b
C. b, g, h (順不同)

[II]

- A. (ア) c (イ) a (ウ) d (エ) b (オ) d
B. (1) b (2) d (3) a
C. (1) d (2) b

[III]

- A. (ア) c (イ) b (ウ) b (エ) b (オ) a
B. a, b, e (順不同)

[IV]

- (1) b (2) b (3) a (4) c (5) b
(6) d (7) c (8) c (9) a (10) a

[V]

- (1) 3番目 h 6番目 f (2) 3番目 d 6番目 h
(3) 3番目 g 6番目 a (4) 3番目 b 6番目 e
(5) 3番目 h 6番目 c

[VI]

- (1) d (2) a (3) a (4) a (5) d
(6) b (7) c (8) a (9) d (10) c

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解説

[IV]

- (1) 問題文の形をみて、SVO+to 不定詞の形を取る動詞を選ぶ問題。選択肢 b の encouraged 以外は SVO+to 不定詞の形を取らない動詞である。encourage O to V で「O が～するよう励ます」という意味。また prevent は prevent O from Ving の形を取ることも多いということも覚えておこう。
- (2) 分詞構文の問題である。省略されている主語は The book であり、その主語と write の関係は受動なので、選択肢 b の written を選ぶ。
- (3) 空所部分は、「建物の後ろから」と言いたいところ。前置詞が 2 つ重なる形である。
- (4) 動名詞の問題であるが、「叱られるのを怖れている」という受動態であることに注意する。a, b の選択肢だと能動で「～を叱るのを怖がっている」といった意味になってしまい、正しい英文にならない。
- (5) 第 2 文型を完成させるために形容詞が必要なところであるが、選択肢 a, c は人を主語に取らない形容詞、d の probably は「おそらく」という副詞であるので、不適。
- (6) in particular で「とりわけ、特に」という意味になる。
- (7) prove to V で「～であることが判明する、わかる」という意味になる。
- (8) 前の否定文を受けて「S もまた～ない」と言いたいときは、neither V S と倒置の形になる。nor V S でもよいこと、また肯定文を受けるときは、so V S の形になることも併せて覚えておこう。
- (9) hardly [scarcely] + 名詞で「ほとんど～がない」という意味になる。ここでは、There was hardly anything left in the store で「その店にはほとんど何も残されていなかった」という意味になる。
- (10) bear O in mind で「O を心に留めておく」という意味。この問題では、bear in mind O と語順が少し入れ替わっていることにも注意する。また、O の部分には、bear in mind that ~ という形で、that 節が来ることもあるので覚えておこう。

[V]

(1) ポイントは、4 文型を取る **cost** を含む物主語構文。

物主語 + **cost** + 人 + 物事は、「物主語が原因で、人は～を失う」という意味になる。

並べ替えた英文は以下の通り：

The newspapers said (that successive financial scandals cost the president many votes).

(2) ポイントは、接続詞の **now that S V** ～「今や～なので」と、以下の物主語構文であるが、形式目的語も含まれているため注意を要する。

物主語 **make it possible [for 人] to V** ～ . 「(物主語のために)[人は]～することができる」という意味である。

並べ替えた英文は以下の通り：

Now (that the internet makes it possible for us) to connect to people all over the world, we feel less isolated.

(3) ポイントは、**see to it that S V** ～「S V ～するよう注意する」と、

run out of ～「～を切らす」という 2 つのイディオムである。

並べ替えた英文は以下の通り：

We must (see to it that we don't run out) of gas.

(4) ポイントは、名詞節を導く接続詞 **if S V** ～「～であるかどうか」と、

work for ～「～に勤める」というイディオム、

さらに **what used to be** ～「以前の～であるもの」という慣用表現の 3 つである。

並べ替えた英文は以下の通り：

He asked me (if I worked for what used to be) the Japan National Railways.

(5) ポイントは、**as is often the case with** ～「～にはよくあることだが」

という関係代名詞の **as** を含む慣用表現である。

並べ替えた英文は以下の通り：

(As is often the case with poetic language), one word can mean two or more things at the same time.

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！